

オンラインで受けられる方へ

できる範囲で、①～⑨をしていただくと幸いです。

①可能であれば、線香を立ててください。

- ・本堂で使用する線香は、松栄堂の「微笑」です。

②可能であれば、浄衣を着て参加してください。

- ・浄衣（じょうえ）：心身の清浄を保つ為に着る白い衣です。
また、阿弥陀様のお迎えを頂き極楽浄土へ旅立つ時の尊い衣です。



③滅罪華（白蓮華）を浄教寺まで送付してください。

- ・滅罪華（めつざいか）：白い蓮の花を型取った紙。
知らず知らず積み重ねてきた罪や障りを白蓮に託します。
「障罪無量」と「名前」を書いて、5月1日までに送付か持参してください。
※本堂では、「障罪無量（しょうざいむりょう）」と称えます。

④丁字（ちょうじ）：行道のとき、無言になり、口を浄めために丁字を唇でくわえます。

- ・チョウジノキの花蕾で、香辛料や生薬としても使われます。
※噛まないように注意してください。噛むとしびれるような感じがすることがある。
※唇で挟んで歩き、着席した時に外します。



⑤塗香（ずこう）：身体と手を清めるために使用します。

- ・ほんの少し手のひら入れ、手のひら、手の甲、両肩、腕を净めます。
・塗香：香木や漢薬などの香原料を、細かい粉状にしたものです。

⑥触香（足香）：儀式等で本堂に入る際、足元から立ちのぼる香煙で心と身体を浄める作法。

⑦剃度（ていど）：煩惱の心を断ち出家をする儀式として、御剃刀を頭にあてます。

- ※オンラインの方は、5月1日までに訪問できる方は、その時にさせていただきます。

⑧洒水（しゃすい）：水で道場、供具、身体等を净めます。

- ・洒水器の棒の先を洒水につけ、頭にあて净めます。
※オンラインの方は、5月1日までに訪問できる方は、その時にさせていただきます。

⑨袈裟（けさ）：お袈裟はお釈迦さまとその弟子たちの印とされ、布切れをつなぎ合わせて、一枚の方形の生地仕立てたものです。福田衣（ふくでんえ）とも呼ばれ、袈裟の条相は、田の畔に模した田相の形をしているところから言われております。「福田」とは、善き行いという種子をまき、功德という収穫を得る田という意味にもなります。



⑩数珠・誦珠・珠数・寿珠